

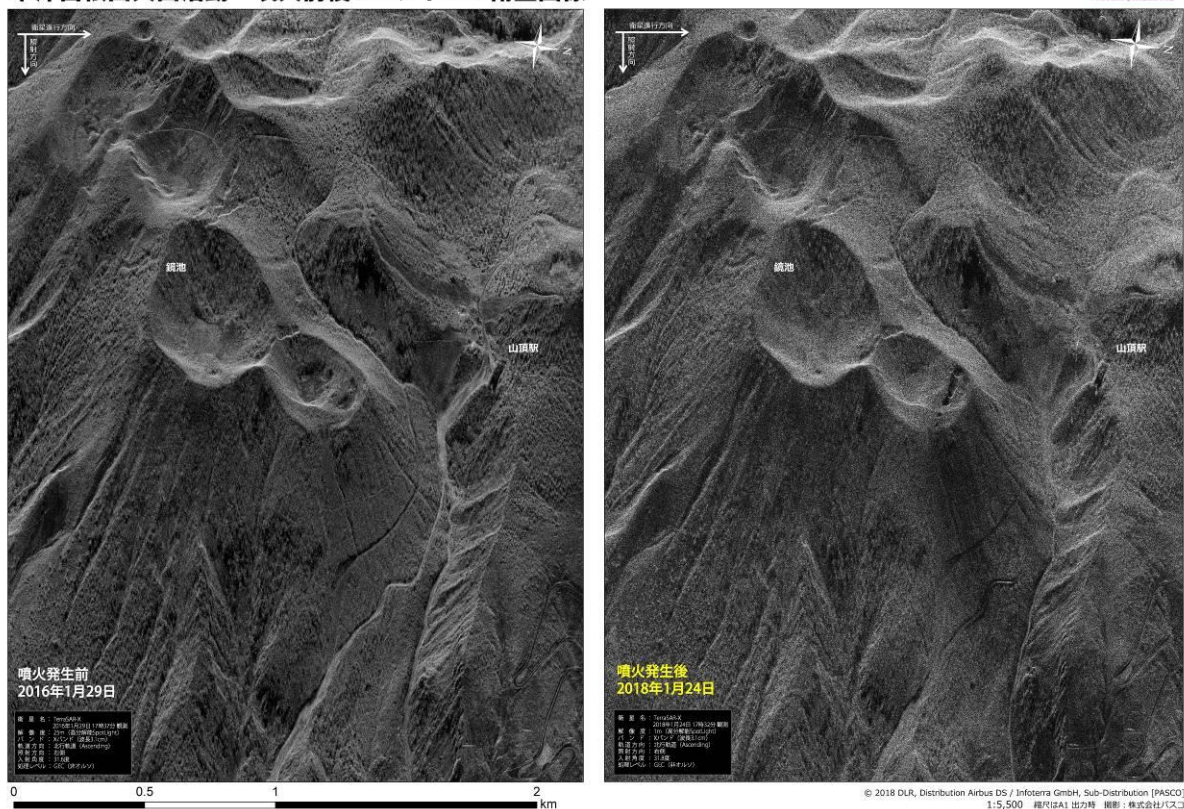
(報道資料)

草津白根山:複数の噴火口を人工衛星画像の解析で確認 災害緊急撮影 噴火活動

2018年1月23日午前に噴火した草津白根山について、株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川 顕一、以下パスコ）は、噴火状況の的確な把握と今後の対策・対応を検討される関係各団体への情報提供の観点から、噴火翌日の1月24日夕刻に地球観測衛星による緊急撮影（観測）を実施いたしました。

今回の観測では合成開口レーダー（SAR）衛星「TerraSAR-X」を用いて撮影を実施しました。SAR衛星は、電波を照射して地球表面を観測することから、雲や噴煙に遮られた状況においても、地表面の観測が行えます。

草津白根山火山活動 噴火前後 XバンドSAR衛星画像



合成開口レーダー（SAR）衛星による撮影画像

右：2018年1月24日（噴火翌日）の画像
左：2016年1月29日（噴火2年前）の画像

■ パスコの分析結果

パスコでは大規模な自然災害発生時において、迅速な現状把握と復旧・復興に資することを目的に災害緊急撮影を行い、当社の防災技術者や衛星画像解析技術者の知見を元に独自の解析を行っています。



2016年1月29日（噴火2年前）に撮影した画像と、噴火翌日の画像の比較から、鏡池北の火口跡北縁に明らかな地形の変化を確認しました（上図の円内）。

大円内には、東西約200m・南北約50mの範囲に複数の噴火口と思われる地形変化が確認でき、小円内にも地形変化が確認できます。

※ 上記の結果は衛星画像による分析であり、現地で確認検証したものではありません。

※ ここに掲載の図は正斜投影前の画像です。（スケールは参考値）

今後もパスコは、空間情報事業を通じて安心して豊かな社会システムの構築に貢献すべく、活動を続けてまいります。撮影・解析成果は順次、ホームページにて公開していく予定です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ (ホームページ)
(災害緊急撮影)
(報道機関)

<http://www.pasco.co.jp/>
http://www.pasco.co.jp/disaster_info/
広報部 TEL : 03-3715-1048

プレスリリースの内容は発表時のものです